

水の 話

FujiClean NEWS

2026
New Year

NO.210

〔特集〕

港町の歴史と 伝統文化が息づく^{とも}^{うら} 瀬の浦

時を超える風光明媚な潮待ちの港

港町の歴史と 伝統文化が息づく^{とも} 靄^{うら}の浦

時を超える風光明媚な潮待ちの港

瀬戸内海の多島美を望む、日本屈指の景勝地である靄の浦。

シンボルである「常夜燈」をはじめ、

江戸期の港湾施設がまとまって現存する国内唯一の港町です。

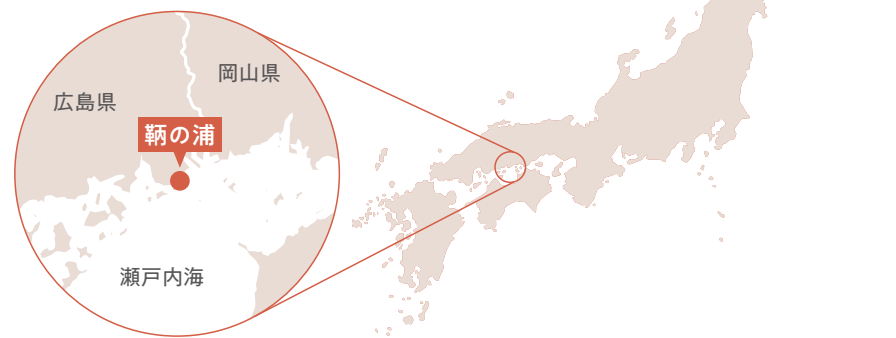
その他にも、昔ながらの町並みや旧跡、寺院が数多く残っており、

古くから潮待ちの港として繁栄を極めていた過去を物語っています。

さまざまな時代の海を渡ってきた靄の浦に息づく、歴史と文化を伝えます。

DATA 靄の浦 (福山市靄町)

古来より瀬戸内海の潮待ちの港として繁栄した歴史ある港町です。かつて広島県沼隈郡にあった靄町は、1956(昭和31)年の市町村合併に伴い、現在は福山市に編入されています。靄町を中心とする周辺一帯、かつての沼隈郡にあたる海岸部から島狭部を含むエリアを靄の浦と呼んでいます。日本で最初の国立公園に指定された瀬戸内海を代表する景勝地の1つであり、また、江戸時代には海運の要衝地として栄え、数多くの寺社や古い町並みが残されています。



歴史が息づく、多島美に恵まれた風光明媚な港町。

万葉集にも詠まれてきた瀬戸内の絶景

鞆の浦は、広島県福山市の南西部、JR福山駅から14キロメートルほど南下した沼隈半島にあります。瀬戸内海のほぼ中央に位置し、背後には山々が迫り、わずかな平地に家々が建ち並ぶ小さな港町です。「鞆」とは、弓を引く時に手首に巻く丸い革製の防具のことで、半円形に巻き込んだ海岸の地形が鞆に似ていることから、「鞆」と名付けられたとも言われています。

鞆の浦がいつから港として存在しているかは明らかではありませんが、今から1,200年以上前に編纂された「万葉集」では、すでに周辺の島々と成す海域の美しさがいくつかの歌の中で詠まれていました。730(天平2)年に大宰府の長官であった大伴旅人も、大宰府から京都に戻る際に鞆に立ち寄り、多くの歌を残しています。ほかにも、作曲家の宮城道雄が鞆の浦をイメージして「春の海」を作曲したとも言われており、多くの人が風光明媚な景観に魅了されてきたことがうかがえます。1925(大正14)年には、鞆の浦の沿岸部と沖合の島々が「鞆公園」として国の名勝に指定され、その後、1934(昭和9)年には日本で最初の国立公園となる瀬戸内海国立公園に指定されており、鞆の浦の絶景は全国的に知られていきました。

海運の要衝として栄える「潮待ちの港」

鞆の浦には、対岸に浮かぶ仙酔島をはじめ、弁天島・玉津島・津軽島などの大小の島々が点在しています。良い港の

条件は、水深がある程度深く、荒天時の波風を避けられる湾や島陰があること、川がないことなどが挙げられますが、そういった条件を満たした立地にある鞆の浦は、まさに天然の良港です。海に囲まれた日本では、陸路が整備される明治期ごろまでの物流は長く海運に支えられてきましたが、特に瀬戸内海は日本経済を支える大動脈と位置付けられていました。瀬戸内海のほぼ中央にある鞆の浦は、満潮時には東西から流れ込んだ潮が鞆の浦の沖合でぶつかり合い、引き潮が始まるとまた東西に分かれて引き始める、潮の分かれ目にあたります。船にエンジンがないため潮の流れを利用した航海が必要だった時代には、多くの船が潮の流れが切り変わるのを鞆の浦で待っていたことから、潮と潮とが会おう「潮待ちの港」として栄えていきました。鞆には江戸時代に建造された港湾施設がほぼ原形に近い形で現在も維持されており、江戸時代、流通における重要な港として機能していたかつての繁栄を物語っています。



“潮待ちの港”の千年にわたる栄枯盛衰の物語。

重要な軍事拠点として歴史を刻む

「万葉集」で初めて文献に登場した後も、鞆の浦はさまざまな歴史の舞台となっています。古来より海上交通の要であったため、奈良・平安時代には都と九州太宰府の往来や、朝鮮通信使、遣唐使が寄港する港として、さらには平家による日宋貿易の重要な中継港として栄えました。多くの人々が行き交うことから布教の拠点としても重要視されるようになり、最澄・空海が開基と伝わる静観寺、医王寺や福禅寺など、さまざまな宗派の寺院が多数建立されています。

中世になると、鞆の浦は軍事的な要衝地としての性格を強めていきます。1336(建武3)年に足利尊氏が光厳上皇からの命令を受け取った場所として登場して以降、「鞆合戦」と呼ばれる北朝と南朝の合戦が繰り返されました。戦国時代には安芸で勢力を持っていた毛利氏が興隆し、鞆の中心部に後の鞆城につながる「鞆要害」を築城したと伝わります。

室町幕府の最後の将軍である15代将軍・足利義昭は、1573(天正元)年に織田信長によって京を追放されると、毛利輝元を頼って1576(天正4)年に鞆に下りました。義昭が鞆を拠点として活動していた11年間の政権を「鞆幕府」と呼ぶ学者もあり、「室町幕府は鞆に興りて鞆に亡ぶ」といわれるように、鞆の浦は日本の歴史の上でも大きな役割を担っていたのです。

商港として繁栄を極めた江戸時代

江戸時代になると、鞆の浦は備後福山藩の重要な拠点と

して発展します。安芸・備後の領主として、豊臣秀吉の家臣である福島正則が入国すると鞆城の城郭を整えていきましたが、一国一城令に先駆けて廃城となってしまいます。その後、福島氏に代わって徳川家康の従弟である水野勝成が領主となりました。この頃になると、博多などからの九州船や西回りの北前船が頻繁に往来するようになり、軍事的な要衝地としての性格は薄れていき、商港として繁栄を極めていきます。

朝鮮国が日本に派遣した外交使節団である朝鮮通信使は、鞆に度々訪れています。その際に福禅寺や鞆の他の寺院が常宿として用いられました。1711(正徳元)年に福禅寺本堂隣の「対潮楼」からの景色に感銘を受けた朝鮮通信使の従事官・李邦彦は、その景観を「日東第一形勝(日本〈対馬から江戸〉で一番美しい景勝地という意味)」と賞賛しました。その他、参勤交代の西国大名やオランダ商館長、琉球使節なども鞆の浦に来航し、当時の活気ある町の様子や美しい景観に魅了されたことが、数々の記録に残っています。

1. 沼隈半島の南端、阿伏兎岬の突端には国の重要文化財である磐台寺観音堂(阿伏兎観音)が建てられており、かつては鞆の浦へ向かう船の目印になっていた
2. 弘法大師による開基と伝えられる真言宗の医王寺
3. 大伴旅人が太宰府での任を終えて奈良へ戻る途中、かつてむろの木と一緒に見た妻を思っ詠んだ歌碑
4. 開基時は天台宗、現在は真言宗の寺院。福禅寺の客殿として建てられた対潮楼は、朝鮮通信使の迎賓館として使われ、鞆の浦の素晴らしい眺めを一望できます



産業と賑わいを生みだす商業都市

貿易港として繁栄したことにより、艀商人は瀬戸内海の交易で重要な地位を占めていき、一時は大阪商人に肩を並べるほどの経済力を持っていたと言われています。港では、大豆、塩、舟用品、特産品の保命酒などが取引され、商品は港のすぐ側に大きな店舗や屋敷、蔵などを構え、昼夜を問わず出入りする船と船乗りたちに対応しました。数多くの豪商が誕生し、当時に建てられた商家建築のいくつかは現在の艀でも見ることができます。艀を代表する商家建築の一つである太田家住宅は、江戸時代中期から後期にかけて保命酒屋だった中村家によって拡張、増築されました。明治期に回船業を営んでいた主屋や保命酒蔵が現在も残り、当時の繁栄がうかがえます。艀町には本瓦葺きの商家が並び、多くの商人や職人が同業ごとに集住していました。港町、商業都市として発展した艀町は大型船の出入りが増え、さまざまな港湾施設が造られていくとともに瀬戸内の要港として発展を遂げたのです。

港としての衰退と残された町並み

艀の浦では、商業が発展する一方で、その他の産業も活

発化していきます。漁業や保命酒などの酒造業とともに、海運の町として船釘や錨などの船具加工を行う鍛冶職人が現れるようになり、鍛冶業が盛んになりました。福島正則が城下町を整備した際には、鍛冶工を集めて鍛冶屋町を整備したと伝わります。こうした地場産業はのちに鉄鋼業に引き継がれていき、近代までこの地域の産業を支えていきました。

しかし明治時代になると、艀の浦の繁栄にも陰りが見え始めます。瀬戸内海の航海も、近代技術が発展し、北前船からエンジンを装着した動力船に移行すると、潮待ちの港の役割は急速に低下していきました。艀港に寄港する船舶は減少し、海運業や商業は衰退の一途を辿ることになります。さらに全国的に鉄道や陸上交通が整備されていきましたが、山陽鉄道(現在のJR山陽本線)は内陸側をルートにとったことから、この地域の開発は急速には行われず、近代化の波から取り残されていきました。しかしそれゆえに、この地域は太平洋戦争の戦禍からも逃れることとなり、今に続くかけがえない景観を残すことができたのだと言えるでしょう。



COLUMN いろは丸事件

日本を代表する幕末のヒーロー、坂本龍馬も艀の浦に縁のある人物の一人です。江戸時代末期の1867(慶応3)年4月23日、坂本龍馬率いる海援隊の「いろは丸」と、紀州藩船「明光丸」が瀬戸内海の六島沖で衝突する事件が発生しました。これにより坂本龍馬と紀州藩の談判は、艀の浦で4日間行われましたが決裂。その後、龍馬は万国公法に基づいて紀州藩から多額の賠償金を取ることに成功し、これにより龍馬と海援隊の名が世間に知れ渡ったと言われています。艀の浦には、今でも龍馬が上陸した当時の港や商家、寺院などが残っており、いろは丸は今も、福山市宇治島沖水深27メートルの海底に沈んでいるそうです。



1. 主屋や炊事場、保命酒蔵などが見事に保存され、商家の佇まいを今に伝える太田家住宅 2. ベンガラ塗りの出格子や趣ある柱など、歴史が色濃く残る、元禄年間創業、300年の歴史を持つ澤村船具店 3. 鍛冶町にある小鳥神社。艀鍛冶の伝統を今に伝えるお社です 4. まるでタイムスリップしたかのようなレトロでノスタルジックな路地裏 5. 江戸時代に造られた石積みの「波止」が現存し、艀の浦を包み込むように延びています 6. いろは丸事件の談判に使用された町家を、旅館として再生した『御舟宿いろは』。宮崎駿監督のデザイン画を元に改装されました 7. 町にはレトロな「ポンプ式井戸」があり、現在も地域の方々に利用されています 8. 外壁に平らな瓦を貼り付け、継ぎ目に漆喰をかまぼこ状に盛り上げた「なまこ壁」

港町文化と歴史情緒があふれる癒しの空間。

国内唯一、現存する江戸期の港湾施設

現在の艀の浦は、時間が止まったかのような昔の町並みや建築物、かつての暮らしぶりを今に伝える希少な町として再評価されています。とくに江戸時代に造られた「常夜燈」「雁木」「波止場」「焚場」「船番所」の港湾施設が全てそろっているのは国内で唯一。艀の浦のシンボリックな存在でもある常夜燈は、港の入り口を示す伝統的な灯台で1859(安政6)年に建てられました。高さ5.5メートル、海中の基礎の上から宝珠までは11メートルあります。そして常夜燈のたもとから海に向かって階段のように並んでいるのが、船着場として大きな役割を果たした雁木です。海に突き出て穏やかなカーブを描く石積み「波止」と呼ばれる防波堤で、港内の船を守るために造られました。「常夜燈」「雁木」と並び、現存する施設の中で最大級です。これらに加え、港に出入りする船を見張った「船番所」や、船の修理を行った「焚場」の跡が残っており、港湾施設に必要とされた5つの施設が揃うことから、日本の歴史を伝え残す貴重な場所となっています。

かつての繁栄を物語る建築意匠

瀬戸内海随一の海運基地であった艀の浦には、江戸時代の町屋から戦後の洋風建築までが溶け合うように並び、当時の繁栄を垣間見ることができます。町割は現在でも江戸時代の地図とほぼ変わりがなく、間口の狭い家屋が隙間なく軒を連ねる町並みが当時の面影を感じさせます。建築時期の違いによって、軒高が不揃いなのも特徴です。こうした伝統的な町家や寺社、石垣などの石造物、港湾施設などが一体となって残っている歴史的価値が評価され、2017(平成29)年11月に「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。特に伝統的建造物が集中する8.6ヘクタールの保存地区内には、江戸時代から戦前までの伝統的建造物が約264棟もあり、全国的に見ても希少な地域です。さらに町の中には、車が1台通れるほどの狭い道が迷路のように通っており、港へと続きます。ゆったりと時間が流れる路地を歩いていると、漆喰の壁やなまこ壁、格子窓、虫籠窓など、時代を映し出す独自の意匠を発見することができます。



訪れる人を虜にする悠久の時間

靴の浦には寺社もたいへん多く、小さな範囲に19のお寺と沼名前神社をはじめとする大小さまざまな神社が見られるのも大きな特徴です。江戸時代初期に、福島正則が城下町整備の一環で「寺町通り」を造営したのをきっかけに各宗派のお寺がほぼ一直線に並べられ、沼名前神社の参道へとつながっています。この地域では、一年を通じてたくさんのお祭りが開催されており、暮らしの一部として受け継がれてきました。巨大な松明を担いで神社の石段を登る「お手火神事」や、海上で繰り広げられる「観光鯛網」など、のどかな港町が丸となって盛り上がる特別なイベントがあります。

さらに2017(平成29)年10月に、福禅寺対潮楼朝鮮通信使関連史料6点(市重要文化財)を含む「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコの「世界の記憶(記憶遺産)」に登録。2018(平成30)年5月には、鞆の浦の港町文化をテーマとしたストーリーが文化庁の「日本遺産」に認定されるな

ど、鞆の浦の歴史と伝統が評価されています。先に紹介した「重要伝統的建造物群保存地区」とあわせ、一つの地域で3つの評価を受けている地域は鞆の浦だけです。また、多くの映画やドラマの舞台にもなっており、かつてアニメ制作会社スタジオ・ジブリが社員旅行で鞆の浦を訪れたのをきっかけに、監督の宮崎駿氏が数カ月間滞在して構想を練ったことで、アニメ映画『崖の上のポニョ』が制作されました。

鞆の浦の魅力は、「変わらないこと」に新しい価値を見つけ、「残ったもの」を大切に守り続けたからこそ生まれました。近年、インバウンドなどの影響によって多くの名所が観光地化していく中で、鞆の浦には昔ながらの町並みの中に人々の日常が静かに、穏やかに流れています。昔の商家や民家、建築様式を引き継いだ住宅に住み続ける人々も多く、現在の暮らしが結びついています。だからこそ、鞆の浦で出会える景色、人、空間に触れる時、悠久の時に思いを馳せながらもどこか懐かしい、やさしい気持ちになるのです。

1. 江戸時代初期に福島正則が城下町整備の一環として城の北側にお寺を集めてきた寺町筋 2. お寺につながる石段や小道は、猫たちの憩いの場でもあります 3. 訪れる人へのへの気持を表し、軒先に吊るされた「おりがみ飾り」 4. 地元のお祭りや行事、空き家情報などを発信する交流拠点「朝ぐら」 5. 観光客の移動手段として、二酸化炭素排出量が少なく、狭い道で走行できタリスロタウナーが運行

資料提供・撮影協力 ○ 福山市観光戦略課

參考資料

- 福山市観光戦略課
- 日本の宝 鞆の浦を歩く(三浦 正幸 著 / 株式会社南々社 発行)
- 〈鞆の浦〉の歴史保存とまちづくり 環境と記憶のローカル・ポリティックス
(森久 聡 著 / 株式会社新曜社 発行)
- 鞆物語 [HP https://tomonoura.life/](https://tomonoura.life/)
- VISIT鞆の浦 [HP https://visittomonoura.com/](https://visittomonoura.com/)
- 徹底解剖！ ひろしま博 [HP https://www.pref.hiroshima.lg.jp/lab/topics/20211018/01/](https://www.pref.hiroshima.lg.jp/lab/topics/20211018/01/)
- 入江豊三郎本店 [HP https://www.iriehonten.jp/item/houmeishu.html](https://www.iriehonten.jp/item/houmeishu.html)



ペリーにも振る舞われた名産品

韮の浦だけに伝わる薬味酒「保命酒」
ほうめいしゅ

鞆の浦の名産品として知られる「保命酒」は、もち米を原料とし、薬味を漬け込んだ和製リキュールです。その起源は、1659（万治2）年、漢方薬を研究していた大阪の医師・中村吉兵衛が長崎出島に薬草の買い付けに向かう途中に立ち寄った鞆で見つけた地酒に、生薬を漬け込んだのが始まりとされています。その後福山藩からの庇護を受けると、保命酒は備後の特産品として全国に知れ渡るようになります。他の酒よりも一段格上とされ、清酒と違い長期保存も可能なので藩の御用酒として高貴な方々への贈答品として使われました。幕末には、アメリカからペリー提督がやってきた際にも保命酒が振る舞われたと記録されています。明治時代にはパリの国際万博に出展され、海外にも名を轟かすようになりました。そんな中、保命酒の名声の高まりとともに類似品を製造する業者が現れたことによって、中村家は藩当局に専売制を願い出たのです。これ以降、保命酒の製法は門外不出となったと言われています。

江戸時代が終わると、廃藩置県によって中村家は藩の保護を失い、専売制が廃止となると保命酒を造る業者が次々と現れ始めました。現在では、「入江豊三郎本店」「岡本亀太郎本店」「八田保命酒舗」「保命酒屋」の4軒の蔵元で保命酒の醸造が続けられています。原酒に各店によって違うレシピの薬味を漬け込んでいるため、飲み比べるのも面白いかもしれません。ちなみに、保命酒づくりは途中の過程までは本みりんと同じ工程で、麴から出る酵素によってもち米が糖化し、液化されて甘いお酒になります。焼酎、もち米、麴の3つに13種類の生薬を漬け込むことから、保命酒は十六味地黄保命酒(十六味保命酒)とも呼ばれて、生薬の香味が独特の味わいをもたらします。口当たりのよいまろやかな甘みはたいへん飲みやすく、お酒の苦手な方にもぴったりです。近年は、保命酒のどど飴やせんべいなどのさまざまなお菓子も次々に開発されており、観光客からもお土産として親しまれています。



▶ 入江豊三郎本店

本店 広島県福山市鞆町鞆534
TEL. 084-982-2013
FAX. 084-982-2015
営業時間 10:00~17:00(不定休)

保命酒を今に伝える4軒の蔵元のひとつ、鞆町内にある酒蔵にて蒸米から麴作りまでほぼ手作業で、保命酒の醸造を続けています。保命酒の原料になる本みりんをはじめ、のど飴やコーラなどの開発商品も豊富に取り揃えています。

製品

施工性・維持管理性に定評があるPV型が、ラインナップを拡大！

大型浄化槽

PV型 51~4000人槽
(2.55~200m³/日)



対応水量が従来の5倍に！ 最大4,000人槽まで拡大しました

大型浄化槽の中で、ダントツのコンパクト性を実現するPV型の対応範囲が広がりました。従来のPV型に比べ、1日あたりの対応水量は40m³から200m³へ、対応人槽も200人槽から4000人槽へと大幅に拡大しています。これにより、ホテル・工場・商業施設・医療施設・複合施設など、大水量帯の用途にも対応可能に。また、従来と同様、安定水質を実現する接触ろ床方式を採用し、主要電源もブロウ・ポンプだけなので施工性・維持管理性・経済性にも優れています。さらに外柱レス設計により、5系列でも省スペース設置を実現。掘削土量・残土処理コストなどの削減にも貢献します。

ここがポイント！

- ① シンプル構造で運用コストを大幅削減！
- ② I型管体で設置コスト大幅削減！
- ③ ホテルや工場など大規模建築用途に対応！
- ④ 接触ろ床方式の確実な処理性能

■ PV型51~4000人槽 (2.55~200m³/日)

処理方式	接触ろ床方式		
処理性能 放流水質 (mg/L以下:日間平均値)	BOD 20	SS 10	COD 30

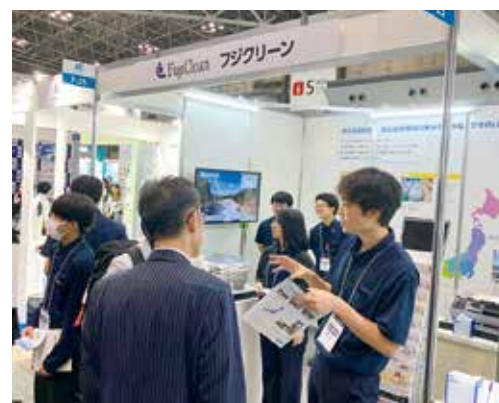
(一財)日本建築センターによる性能評価値

EVENT

食品産業の複合展FOOD展2025に フジクリーンが出展しました。



フジクリーンは、2025(令和7)年10月15日(水)~17日(金)に東京ビッグサイトにて開催された「FOOD展2025」に出展しました。FOOD展は、「食」に関わる5つの専門展で構成される食品産業の複合展示会で、4日間でのべ20,000名が来場しました。今回、初出展となるフジクリーンは、食品工場の設備改善にフォーカスした専門展示会「フードファクトリー」に出展。食品メーカーや食品製造機械メーカーに向け、既設工場の排水を採水調査して最適なプランをご提案する「廃水処理診断サービス」を紹介し、食品製造廃水処理メーカーとしての認知度を広げることができました。



海外活動

カナダカルガリー市で寒冷地における 浄化槽の実証実験を行っています。

フジクリーンは、カルガリー大学の研究機関ACWA、LM Wastewater Solutions、日本下水道事業団と連携し、寒冷地における浄化槽の有効性を実証するための試験を行っています。試験はカルガリー市パインクリーク下水処理場の排水を用いて行い、2026(令和8)年3月まで実施する予定です。

農村地域における人口動態やインフラ需要の変化に

伴い、排水処理ニーズは増加しています。特に寒冷地では、下水道の整備が困難な地域も多く、地域の生活環境と水質保全を両立させるための代替策が必要です。本試験により、寒冷地での浄化槽の処理性能や運用上の課題が明確化されれば、農村地域における柔軟で費用対効果の高い排水処理手段としての浄化槽普及が促進されることが期待されます。



実証施設完成式典 テープカットの様子



実証施設完成式典 プレゼンテーションの様子

働きがい
向上紹介
19

社員同士のコミュニケーションを促進する オフィス環境を整備しています。



本社移転に合わせ、社員同士のコミュニケーションを促進するオフィスづくりを行いました。オープンなミーティングスペースを多数設けたことで、かしこまった会議だけでなく気軽な打ち合わせや相談がしやすくなり、部署を超えた意見交換や新たなアイデアの創出

を後押ししています。また、昼食や雑談、休憩に適したリフレッシュスペースを整備し、仕事と休息のメリハリをつけられる環境を実現しました。

社員同士の主体的な交流を促進し、働きやすいと感じる職場づくりを、今後も推進してまいります。



リフレッシュスペース



オープンミーティングスペース

もっと
motto!
広げよう

水環境をきれいに
する取り組み

〈岐阜県大垣市〉
岐阜県立大垣北高等学校
自然科学部
オオサンショウウオ班



顧問 高木 雅紀 先生

岐阜のオオサンショウウオを守りたい！ 地元高校生が生息状況を調査・解明へ



オオサンショウウオの実地調査



捕獲した個体の
サイズを計測




捕獲に成功した
オオサンショウウオ班

国の特別天然記念物として知られる「オオサンショウウオ」。岐阜県を流れる木曽三川では、長良川・木曽川には生息していますが、揖斐川には生息していません。「なぜ学校の近くを流れる揖斐川にだけ生息していないのだろう」、そんな疑問を持った岐阜県立大垣北高等学校自然科学部の部員たちが、2021（令和3）年に「オオサンショウウオ班」を結成し、原因を探る活動を始めました。さまざまな仮説を立てながら調査をした結果、岐阜県にオオサンショウウオが分布し始めた頃の揖斐川は、まだ規模が小さく不安定だったため、住处として定着しなかったことが解明できました。その後も、岐阜県にはオオサンショウウオ専門の研究機関がないため、県内の生息状況を明らかにしようとさらなる調査をスタート。すると2023（令和5）年8月、下呂市菅田川で地元の親子向けに開催した観察会で、岐阜県で初となるチュウゴクオオサンショウウオとの交雑種を発見したのです。近年、体が大きく凶暴な交雑個体は、国産個体を絶滅の危機に

追いやるとして問題視されています。岐阜県内でも同じ状況が起こっていると考え、オオサンショウウオ班では菅田川とその支流で現地調査を行い、大学や研究機関と連携して捕獲した個体のDNA鑑定などを実施。交雑オスが繁殖巣穴を独占してしまい、幼生の交雑個体が増えている実態などが明らかになっていきました。現在は、交雑個体が遡上できない菅田川堰堤の上流に国産個体を放流し、安全に繁殖活動できる「サンクチュアリ」の創出を目指しています。

こうした調査結果や活動は、2024（令和6）年度「日本学生科学賞」での内閣総理大臣賞をはじめ、数々の賞を受賞。2025（令和7）年に秋篠宮家の佳子さまが岐阜県内の水族館を視察された際にも、部員がオオサンショウウオの説明役を務めました。多くの貴重な経験は部員たちのモチベーションにもつながり、研究への情熱は後輩へと受け継がれています。今後も、高校生という枠を超えた部員たちの挑戦と新たな発見に期待が高まっています。

 **FujiClean** フジクリーン株式会社

本社 名古屋市中区丸の内一丁目16番15号 名古屋シミズ富国生命ビル14階 〒460-0002 TEL(052)733-0325
<https://www.fujiclean.co.jp>

札幌支店 (011)738-5075	群馬営業所 (027)327-5611	広島営業所 (082)843-3315
東北支店 (022)212-3339	埼玉営業所 (048)660-5050	高松営業所 (087)869-8680
東京支店 (03)3288-4512	千葉営業所 (043)206-5171	松山営業所 (089)967-6123
名古屋支店 (052)249-5100	新潟営業所 (025)271-8668	高知営業所 (088)803-1520
大阪支店 (06)6396-6166	山梨営業所 (055)275-9300	佐賀営業所 (0952)31-9151
福岡支店 (092)441-0222	松本営業所 (0263)27-2080	熊本営業所 (096)388-3571
盛岡営業所 (019)604-2527	岐阜営業所 (058)271-1131	大分営業所 (097)558-5135
郡山営業所 (024)937-0800	静岡営業所 (054)286-4145	宮崎営業所 (0985)32-3064
茨城営業所 (029)851-0031	三重営業所 (059)213-5520	鹿児島営業所 (099)257-3501
宇都宮営業所 (028)625-4650	和歌山営業所 (073)422-3634	沖縄営業所 (098)862-9533



発行 2026年1月1日 フジクリーン株式会社「水の話」編集室

 水の話公式
Instagram

Follow Me



 ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C014687